

時間副詞について

高橋 弥守彦

A Study of Time Adverbs

TAKAHASHI Yasuhiko

〈内容提要〉

一般来说，名词具有两种特性：一种是外部的运动，用动词来描述（如人的行为动作）；另一种是内部的运动，用形容词来表示（如人的个子的高低）。而用来描述动词和形容词特性的一般是副词。副词一般可以分为八类：程度副词、语气副词、情状副词、范围副词、频率副词、否定副词、时间副词、关联副词。即：

〔副词分类表〕

副词	感情性副词：程度副词、语气副词、情状副词
	判断性副词：范围副词、频率副词、否定副词
	时间性副词：时间副词
	关联性副词：关联副词

时间副词表示过去、现在和未来。这些时间副词一般可以分为两种：一种是时点性时间副词“曾经，已经”，另一种是时段性时间副词“从来，一直”。本文讨论时点性时间副词。时间副词按照时间的概念可以分为以下三种：

表示过去的时间副词：曾经、已经、才、都、刚

表示现在的时间副词：正在、正、在

表示未来的时间副词：将、马上、立刻、就、快

〈キーワード〉

時間副詞、時点性、時段性、過去、現在、未來

目次

0. はじめに

1. 過去・現在・未来を表す時間副詞

1.1. 過去を表す時間副詞

1.2. 現在を表す時間副詞

1.3. 未来を表す時間副詞

2. おわりに

0. はじめに

中国語の単語は実質的な内容を意味する実詞と文法的な意味を表す虚詞の2類に大別できる。単語を品詞別にみると実詞6類・虚詞6類の全部で12類に分けられる¹⁾。このうち虚詞は全部で副詞・介詞・連詞・助詞・嘆詞・擬声詞の6類である。

現実の世界は、この12類の品詞によって言葉の世界が再現される。現実の世界が体系をなしているように、言葉の世界も体系をなしている。では、副詞は12類の品詞の中で、一体どのような役割を果たしているのだろうか。

単語を品詞別に見ると、一般的に言えば、名詞はものに用いる名称であり、名詞には二つの特性がある。一つは外部的な運動であり、これを動詞で表し、もう一つは内部的な運動であり、これを形容詞で表す²⁾。動詞と形容詞の特性を表すのが副詞であり、副詞は一般に程度副詞・語気副詞・情状副詞・範囲副詞・頻度副詞・否定副詞・時間副詞・関連副詞の8類に分けられる³⁾。これらの副詞は次のようにまとめられる。

[副詞分類表]

副詞	感性的な副詞：程度副詞・語気副詞・情状副詞
	判断的な副詞：範囲副詞・頻度副詞・否定副詞
	時間的な副詞：時間副詞
	関連的な副詞：関連副詞

8類の副詞の代表的な単語を若干挙げれば、「感性的な副詞」には程度副詞“最, 很, 特别”・語気副詞“大概, 却, 果然”・情状副詞“忽然, 渐渐, 偷偷”があり、感性的な副詞の種類によって、それぞれ有情物の感性的な側面を表す。「判断的な副詞」には範囲副詞“仅, 都, 还”・頻度副詞“又, 一再, 常常”・否定副詞“不, 没, 别”があり、判断的な副詞の種類によって、それぞれ有情物の判断的な側面を表す。「時間的な副詞」には時間副詞“曾经, 正, 将”があり、時間的な副詞の種類によって、それぞれ時間的な側面を表す。「関連的な副詞」には関連副詞“越…越…, 又…又…, 非…不…”があり、関連的な副詞の種類によって、それぞれ前後の単語・連語・分文・文の関連的な側面を表す。

本稿ではこのうちの過去・現在・未来を表す時間副詞について述べる。ところで、相原茂氏などは時間副詞として次のような単語を挙げている⁴⁾。

才(やっと)	曾经(かつて)	从来(これまで)	都(すでに)
刚(～したばかり)	就(すぐに)	快(まもなく)	马上(すぐに)
立刻(直ちに)	已经(すでに)	一直(ずっと)	正在(ちょうど)

これらの時間副詞は時点性の時間副詞“曾经, 已经”と時段性の時間副詞“从来, 一直”の二類に大別できる。本稿で取り上げる時点性の時間副詞を時間の概念によって分けると、次のようになるであろう。

過去を表す時間副詞：曾经, 已经, 才, 都, 刚

現在を表す時間副詞：正在

未来を表す時間副詞：马上, 立刻, 就, 快

このほか、李臨定氏は“将要”⁵⁾、郭春貴氏は“要”⁶⁾、守屋宏則氏は“在, 正”⁷⁾、孫徳金氏は“在, 正, 将要, 将, 要”⁸⁾なども時間副詞として挙げている。筆者の分類に従えば、“在, 正”は現在を表す時間副詞、“将要, 将, 要”は未来を表す時間副詞となるであろう。ところが、多くの研究者はこれらをアスペクトマーカ―として扱っているようである。たとえば相原氏などは時間副詞をアスペクトマーカ―とする次のような文を挙げている⁹⁾。

- (1) 他们正在吃饭呢。 彼らは昼食をとっているところです。
- (2) 他们正吃饭(呢)。 彼らは昼食をとっているところです。
- (3) 他们在吃饭(呢)。 彼らは昼食をとっているところです。
- (4) 快放暑假了。 まもなく夏休みになる。
- (5) 他要回来了。 彼はまもなく戻ってくる。
- (6) 春天快要到了。 春はもうまもなくやってくる。
- (7) 四年的大学生活就要结束了。 4年間の大学生活はまもなく終わる。
- (8) 庄稼将要成熟了。 農作物がまもなく実る。

“正在, 正, 在”は進行、“将, 就, 快, 要, 将要”は将然を表すアスペクトマーカ―と相原氏が見ているように、多くの研究者もこれらをアスペクトマーカ―とみなしているようである。朱繼征氏は、これとは別に「動相」(アスペクト)を一次形式“了, 着, 过”と二次形式“要, 快, 该 / 起来, 开始, 上 / 正, 在, 呢 / 完, 过 / 好, 成, 光”とに分けている。これまでの先行研究と違い、アスペクトを二類に分けたところに朱繼征氏の特徴がある¹⁰⁾。李明浩氏はさらに一步進んでこれらをアスペクト“了 a, 着, 过”とアスペクチュアリテイ「語気詞、補助動詞、副詞」とに分けている¹¹⁾。しかし、次の文に見られる過去を表す時間副詞“曾经, 已经, 才, 都, 刚”だけはやはり時間副詞として扱い、アスペクトマーカ―とみなしている研究者はほとんどいないようである¹²⁾。

(9) 这个意见我曾经在一次座谈会上谈起过。(《侯》p. 78) この意見はかつてある座談会の席上で一度話したことがある。(筆者訳)

(10) 雪已经化了。(《侯》p. 655) 雪がもう融けた。(筆者訳)

(11) 他才出去。(《侯》p. 74) 彼はやっと出て行った。(筆者訳)

(12) 都十点了, 怎么还不来? (《侯》p. 166) もう十時なのに、どうしてまだ来ていないのだ。(筆者訳)

(13) 刚开完会。(《侯》p. 216) 会議が終わったばかりだ。(筆者訳)

これらの過去・現在・未来を表す時間副詞について、一律に時間概念として扱うのがよいのか、アスペクトマーカ―として扱うのがよいのか、あるいは別個に扱うのがよいのかについて、本稿で言及する。

1. 過去・現在・未来を表す時間副詞

本稿でとりあげる時間副詞とそれに関連する語句、およびそれらを用いている例文は次の通りである。これらの時間副詞は過去を表す時間副詞以外、一般にアスペクトマーカールとみなされているようである。

[時間副詞一覧表]

過去を表す時間副詞：曾经, 已经

現在を表す時間副詞：正在, 正, 在

未来を表す時間副詞：将, 就, 快, 要 / 将要, 就要, 快要

(14) 这里曾经有许多老式住宅。(《张》 p. 94) ここにはかつて旧式の住宅がたくさんありました。(筆者訳)

(15) 客人已经到齐了。(《张》 p. 624) お客はもうそろいました。(筆者訳)

(16) 我们正在商量。(《张》 p. 719) 私たちはちょうど相談しているところです。(筆者訳)

(17) 我正需要一个助手。(《张》 p. 716) ちょうど助手が一人必要なところです。(筆者訳)

(18) 我进去时, 他在给孩子们讲故事。(《张》 p. 684) 私が入っていったとき、彼がちょうど子供達にお話をしてやっていたところでした。(筆者訳)

(19) 春节将到, 小镇上已是一派节日景象。(《张》 p. 285) まもなく春節なので、村はもう祝日の様相を呈しています。(筆者訳)

(20) 我就回来。(《张》 p. 301) すぐ戻ってきます。(筆者訳)

(21) 天快黑了。(《张》 p. 326) すぐ暗くなります。(筆者訳)

(22) 车要开了, 他还没有来。(《张》 p. 582) 車がまもなく出発するのに、彼はまだ来ていません。(筆者訳)

(23) 明天彩排将要和第一批观众见面。(《张》 p. 286) 明日はリハーサル

なので、初めての観客とまもなく顔をあわせるでしょう。(筆者訳)

(24) 快要五十了。(《张》 p. 326) もうまもなく五十になります。(筆者訳)

(25) 穷人翻身做主人的新时代就要来临了。(《张》 p. 310) 貧しい人が立ち上がり、主人公となる時代がまもなくやってきます。(筆者訳)

多くの研究者は、筆者の言うこれらの時間副詞を過去性時間副詞以外はアスペクトマーカールとみなしている。しかし、このうちの“在”を杉村博文氏(1994)は継続副詞とみなし、次のように説明している (p. 104)。

動作行為の「継続中」あるいは「進行中」を積極的に表す手段として、中国語は副詞“在”と文末助詞“呢”を持っています。“在”は時間の流れを感じさせる行為や状況の継続・進行を表すことが多く、主に書き言葉で使われます。

このほか、荒川清秀氏(2003)は未来表現の一つとして、“快…了”“要…了”“就要…了”“快要…了”を挙げ、これらの違いを積極的に述べているが (p. 147~149)、これらの表現を作る単語がアスペクトであるとか、どのような品詞に属すとかについては、あまり明確に述べていない。

1.1. 過去を表す時間副詞 “曾经, 已经”

過去を表す時間副詞は“曾经, 已经”以外にも、例(11)(12)(13)に見られるような、“才, 都, 刚, 曾, 已”などがあるが、本稿ではよく使われる“曾经, 已经”をとりあげる。まず“曾经”の例文から見てみよう。

(26) 我曾经跟他在一起工作过三年。(『八』 p. 37) 私はかつて彼と一緒に3年間仕事をした。

(27) 这位老大娘曾经掩护过八路军。(『八』 p. 37) このおばあさんは昔八路軍をかくまったことがあった。

(28) 前些天曾经热过一阵, 这几天又凉快些了。(『八』 p. 38) 先ごろは暑かったが、ここ数日また涼しくなった。

(29) 为了做好准备工作，他曾经忙了好几天。(『八』 p. 38) 準備をきちんとするために、彼は何日も忙しかった。

“曾经”について、『八』では「以前にある行為や状況があったことを示す」(p. 37) としている。《曲》《侯》も『八』とほとんど同じ説明をしている(p. 78/p. 68)。《张》では「ある行為や状況が以前発生しているか、とっくに存在しているかを示す」(p. 93) と説明している。筆者はこれらの先行研究と例文とから“曾经”を「発生した出来事が過去であることを表す標識」と解釈する。それゆえ、よく経験を表す動態助詞“过”とともに用いられ、まれに運動の実現を表す動態助詞“了”とともに用いられる(例 29)。

次に各研究者の挙げる“已经”の例文を検討してみよう。

(30) 他已经走了。(『八』 p. 399) 彼はすでに出かけた。

(31) 我工作已经三年了。(『八』 p. 399) 私は仕事を始めてすでに三年になった。

(32) 已经两点了，该走了。(『八』 p. 399) もう二時だ、出かけなければならない。

(33) 前两年已经处理过一次。(『八』 p. 398) 二年前すでに一度処理したことがある。

(34) 现在我国国家和社会的情况已经有了很大变化。(《侯》 p. 655) 現在、わが国と社会の状況はすでに大きく変化した。(筆者訳)

(35) 天已经快黑了，咱们走吧！(『八』 p. 399) もうすぐ日が暮れそうだ、行こうよ。

(36) 已经差不多两点了，怎么他还不来？(『八』 p. 399) もうまもなく二時になるのに、どうして彼はまだ来ないの。

(37) 稍等一会儿，我已经要写完了。(『八』 p. 399) しばらく待ってください、もうまもなく書き終わりますので。

“已经”について、『八』では「動作や変化が完了している、あるいはある程度にまで到達していることを表す」(p. 398) としている。《曲》は“已经”の用法を「動作や行為が以前、発生しているか完成しているか、事物や状況が

以前、出現しているか存在しているかを表す」と「数量や時間を表す語句の前に用いられ、時間が長いこと、遅いこと、数量が多いことを表す」の二類に分けている(p. 555~556)。《侯》は「実現や存在を表す」(p. 655)と説明をしている。《张》では「ある事柄や状態が以前発生しているか、とっくに存在しているかを示す」(p. 624)と説明している。筆者はこれらの先行研究と例文とから“已经”が「出来事の過去実現時間を表す標識」と解釈する。それゆえ、よく出来事の実現を表す語気助詞“了”とともに用いられ、まれに経験を表す動態助詞“过”(例 33)や運動の実現を表す動態助詞“了”(例 34)とともに用いられる。“已经”の後に“快, 差不多, 要”を用いると、これらの表す意味から全体で「出来事の未来実現時間を表す標識」(例 35, 36, 37)と解釈できる。

1.2. 現在を表す時間副詞“正在, 正, 在”

現在を表す時間副詞は“正在, 正, 在”のみである。これについて、既述のように相原氏はアスペクトマーカ―とし、朱氏はアスペクト二次形式とし、杉村氏は“在”のみを継続副詞としている。“正在, 正, 在”を用いている例文を単語ごとにそれぞれ検討してみよう。

(38) 现在正在开会。(『八』 p. 447) 今ちょうど会議中だ。

(39) 同学们正在准备考试。(『八』 p. 447) 学生たちは試験勉強をしているところだ。

(40) 老张正在忙。(『八』 p. 447) 張さんは今ちょうど忙しい。

(41) 小芳正在不高兴, 姐姐进来把她带走了。(『八』 p. 447) 芳ちゃんがぐずっているところへ、お姉さんが入ってきて連れて行った。

(42) 速度正在慢下来。(『八』 p. 447) 速度はいま落ちてきているところだ。

(43) 一轮红日正在从地平线上升起。(『八』 p. 447) 赤い太陽が今まさに地平線を昇りつつある。

(44) 他们正在商量呢, 你等一下。(《侯》 p. 745) 彼らは今ちょうど相談しているところなので、ちょっとお待ちください。(筆者訳)

(45) 我们正在上着课呢。(《HSK》 p. 139) わたしたちは今ちょうど授業をうけているところです。(筆者訳)

“正在”について、『八』では「動作が進行中である、または状態が持続していることを表す」(p. 447) としている。《曲》は「動作・行為が進行中である、または状態が持続していることを表す」(p. 626) としている。《侯》《张》は『八』とほとんど同じ説明をしている(p. 745/p. 718~719)。また、『八』では“正在, 正, 在”を比較して“正在”は時間・状態のどちらも指す(p. 448) と指摘している。筆者はこれらの先行研究と例文とから“正在”が「出来事が行われている現在の瞬間と継続の時間を表す標識」と解釈する。それゆえ、出来事の継続を表す語気助詞“呢”(例 44, 45)とともに用いられ、まれにはあるが、さらに運動の継続を表す動態助詞“着”(例 45)も用いられる。

(46) 我们正面对一大堆要解决的难题。(《张》 p. 716) 私たちは解決しなければならぬたくさんの難題にちょうど直面しています。(筆者訳)

(47) 我去的时候, 他正从楼上下来。(『八』 p. 447) 私が行ったとき、彼はちょうど二階から降りて来た。

(48) 我们正讨论呢。(『八』 p. 447) 我々は今、討論しているところだ。

(49) 老潘正发言呢。(『八』 p. 447) 潘さんがちょうど今、発言している。

(50) 我正等着呢。(『八』 p. 446~447) 私はちょうど待っているところです。

(51) 他正忙着呢。(『八』 p. 447) 彼は今、忙しい最中だ。

(52) 现在正上着课呢。(『八』 p. 447) 今ちょうど授業中だ。

(53) 我正要出诊, 有事回来再说把。(《曲》 p. 624) ちょうど往診に行くところなので、用事があるなら、帰ってから話しましょう。(筆者訳)

(54) 他正想去田间, 门外来了一位客人。(《曲》 p. 624) ちょうど野良へ行こうとして外へ出ると、お客が来た。(筆者訳)

“正”について、『八』では「動作が進行中か、状態が持続中であることを表す」(p. 446)としている。《曲》は「動作・行為が進行中か、状態が持続中であることを表す」(p. 623)としている。《侯》《张》は『八』とほとんど同じ説明をしている(p. 741/p. 716)。また、『八』では“正在, 正, 在”を比較して「“正”は時間を指すことに重点がある」(p. 448)と指摘している。筆者はこれらの先行研究と例文とから“正”が「出来事が行われている現在の瞬間時間を表す標識」と解釈する。それゆえ、出来事が行われている現在の瞬間時間を表す場合は、出来事の継続を表す語気助詞“呢”(例 48~52)とともに用いられ、さらに運動の継続を表す動態助詞“着”(例 50, 51, 52)も用いられる。また、“正”の後に能願動詞“要, 想”(例 53, 54)を用いると、その表す意味から全体で「出来事が行われようとする現在の時点時間を表す」と解釈することができる。

(55) 火车在飞奔。(『八』 p. 426) 列車が飛ぶように走っている。

(56) 红旗在飘扬。(『八』 p. 426) 赤旗がひるがえっている。

(57) 天气一天天地在热起来。(《张》 p. 684) 一日一日と暑くなってきています。(筆者訳)

(58) 他在生气呢。(《张》 p. 684) 彼は怒っています。(筆者訳)

(59) 他在跟进来的客人打着招呼。(《张》 p. 684) 彼は入ってきたお客に挨拶をしているところだ。(筆者訳)

(60) 你又在撒谎了。(《张》 p. 684) 君はまたうそをついた/ついているな。(筆者訳)

(61) 那孩子还在哭。(《张》 p. 684) あの子はまだ泣いている。(筆者訳)

(62) 听说你一直在找这个秘方。(《张》 p. 684) ずっとこの秘法を探しているそうですね。(筆者訳)

“在”について、『八』では「…している」(p. 426)としている。《曲》は「動作・行為が進行中であるか、状態が持続中であることを表す」(p. 607)と説明し、《侯》は「動作の進行、状態の持続を表す」(p. 745)と説明し、《张》

は「動作・行為または性質・状態が進行中か持続中であるかを表す」(p. 683)と説明をしている。また、『八』では“正在, 正, 在”を比較して「“在”は状態を指すことに重点がある」「“在”は反復して進行すること、または長期にわたる持続も表す」(p. 448)と指摘している。筆者はこれらの先行研究と例文とから“在”が「出来事が行われている継続時間を表す標識」と解釈する。それゆえ、出来事の継続を表す語気助詞“呢”(例 58)とともに用いられ、運動の継続を表す動態助詞“着”(例 59)とともに用いられる。また、“在”が「出来事が行われている継続時間を表す標識」なので、その前にその丸ごとの特性を表す副詞“又, 还, 一直, 一向”(例 60, 61, 62)なども用いることができる。

ところで、筆者の分析によれば、“正在”は「出来事が行われている現在の瞬間と継続の時間を表す標識」であり、“正”は「出来事が行われている現在の瞬間時間を表す標識」であり、“在”は「出来事が行われている継続時間を表す標識」である。この分析に従えば、“正在”は“正”と“在”とが連用されただけであり、単語ではないのではないかと、という疑問を持たれる可能性があるだろう。しかし、“正”の用法である例(47)の出来事“下来”は「出来事が行われている」ので、筆者の分析に従えば、“正”の代わりに“正在”を用いても、“在”を用いてもよいはずである。だが、実際には“正”の代わりに“正在”を用いることはできるが、“在”は用いることができない。これは例(47)の後ろの出来事が前の分文の出来事に影響され、出来事の瞬間時間を表しているためである。そのため、「出来事が行われている継続時間を表す標識」である“在”が使えないのであろう。この点からすると、“正在”を単語と認めるほうが言語事実在即していると言えるであろう。

1.3. 未来を表す時間副詞“将, 就, 快, 要 / 将要, 就要, 快要”

未来を表す時間副詞は“将, 就, 快, 要”と“将要, 就要, 快要”などである。これらについて、既述のように相原氏はアスペクトマーカ―としている。“将, 就, 快, 要”を用いている例文を単語ごとにそれぞれ検討してみよう。

(63) 火车将进站了。(『八』 p. 178) 汽車はもうすぐホームに入ってくる。

(64) 他们将提前回国。(《侯》 p. 321) 彼らは予定を繰り上げて帰国します。(筆者訳)

(65) 公鸡已叫了两遍，天将明了。(《曲》 p.253) 雄鶏がもう二回鳴いたので、程なく明るくなります。(筆者訳)

(66) 离开杭州不觉已将十年。(『八』 p. 178) 杭州を離れていつのまにか間もなく十年になる。

“将”について、『八』では「動作あるいは状況がまもなく発生しようとしていることを表す。もうじき…しそうだ。やがて」(p.178)と説明している。《曲》は「動作・行為がまもなく発生するか、ある状況や事物がまもなく出現することを表す。“就”“要”“快要”に相当する」(p.253)、《侯》は「発生や実現が近いことを表す。“将要, 就要”の意」(p.321)、《张》は「ほどなくある状況やある事柄が発生するであろうことを表す」(p.285)、と説明をしている。筆者はこれらの先行研究と例文とから、“将”は「出来事がまもなく実現するであろう未来実現時間を表す標識」と解釈する。それゆえ、よく出来事の実現を表す語気助詞“了”(例 63, 65)とともに用いられる。

(67) 我就去。(『八』 p. 190) 私はすぐ行きます。

(68) 我这头痛病一会儿就好。(『八』 p. 190) 私のこの頭痛はしばらくしたらよくなる。

(69) 足球联赛明天就开始。(『八』 p. 190) サッカーのリーグ戦は明日から始まる。

(70) 你等会儿，他马上就回来。(『八』 p. 190) 少しお待ちください。彼はすぐ戻ってきます。

(71) 麦子眼看就熟了，赶紧准备收割吧。(『八』 p. 190) 麦はまもなく実るから、急いで刈り入れの準備をしよう。

(72) 天很快就亮了。(『八』 p. 190) 夜は間もなく明ける。

(73) 天就快亮了。(《张》 p. 301) 空がすぐ明るくなります。

“就”について、『八』では「短時間で発生することを表す」(p. 190)と説明している。《曲》は「時間が短いかわいさを表す」(p. 272)、《侯》は「短い

時間を表す」(p. 343)、《张》は「発話時を参照点とし、話し手は事柄がすぐに発生すると思う」(p. 301)、と説明している。筆者はこれらの先行研究と例文とから、“将”を「出来事がまもなく実現するであろう未来実現時間を表す標識」と解釈する。それゆえ、よく短い時間を表す時間副詞“马上, 眼看”(例 70, 71) や“快”(例 73)、および出来事の実現を表す語気助詞“了”(例 71, 72, 73)とともに用いられる。

(74) 大会快开完了。(『八』 p. 210) 大会はもうすぐ終わる。

(75) 饭快熟了。(『八』 p. 210) ご飯はもうすぐ炊きあがる。

(76) 快半夜了, 还在学习。(『八』 p. 210) もう真夜中だというのに、まだ勉強している。

(77) 到了十月底, 天气就快冷了。(『八』 p. 210) 十月の末になると、ぼつぼつ寒くなりだす。

“快”について、『八』では「時間が迫っていることを表す。もうすぐ…になる。普通は文末に“了”を用いる」(p.210)と説明している。《曲》は「ある動作・行為・情況・事物がすぐ発生するか出現するかを表す。“就要”“将要”に相当する」(p.294)、《侯》は「行為や状態が発生や実現に近いこと、また、ある時間や数量に近いことを表す。“将要, 就要”の意。文末に多く“了”を伴う」(p.374)、《张》は「すぐにある現象や情況が出現するであろうこと、あるいはある行為や動作が出現するか発生するかを表す」(p.325)、と説明をしている。筆者はこれらの先行研究と例文とから、“快”を「出来事がすぐ実現するであろう未来実現時間を表す標識」と解釈する。それゆえ、比較的短い時間を表す時間副詞“就”(例 77)、および出来事の実現を表す語気助詞“了”とともに用いられる。

(78) 他要回来了。(『八』 p. 385) 彼はもうすぐ戻ってくる。

(79) 大家小声点, 孩子要睡了。(《张》 p.582) 皆さん声を潜めてください。子供がもうすぐ寝ますから。(筆者訳)

(80) 他快要毕业了。(『八』 p. 385) 彼はもうすぐ卒業だ。

(81) 立了秋, 天气就要凉快了。(《侯》 p. 353) 立秋になったので、もう

すぐ涼しくなります。(筆者訳)

(82) 麦子眼看就要割完了。(『八』 p. 385) もうすぐ麦刈りが終わろうとしている。

“要”について、『八』では助動詞であり、「もうすぐ…するだろう。前に“快, 就”をつけてもよい。ふつう文末に“了”を付ける」(p.385)と説明している。《曲》は副詞であり、「動作・行為または情況がすぐに発生するか出現するかを表す。“将”“将要”に相当する。よく話し言葉に使われる」(p.509)、《侯》は副詞であり、「発生するであろうことを表す。多く動詞連語を修飾する」(p.609)、《张》は副詞であり、「時間を表し、“将”“将要”に相当する。」(p.582)、とそれぞれ説明している。先行研究によれば、“要”は助動詞と副詞に分かれている。筆者はこれらの先行研究と例文とから、“要”を能願動詞とし、「時間詞+出来事+語気助詞“了”」構造の時間詞の位置に用いられることにより、「出来事がもうすぐ実現するであろう未来実現時間を表す」と解釈する。それゆえ、比較的短い時間を表す時間副詞“快”(例 80)“就”(例 81)、および出来事の実現を表す語気助詞“了”とともに用いられる。“要”が「時間詞+出来事+語気助詞“了”」構造の中に用いられると、出来事の実現する未来時間を表せるのは、“要”が時間副詞であるからではなく、時間副詞の位置に用いられていることにより、未来実現時間を表すことができると解釈する方がよいであろう。

次に“将要, 就要, 快要”を用いている例文をそれぞれ検討してみよう。

(83) 四月将要有一次月全蚀。(《侯》 p.323) 四月にまもなく皆既月食があります。(筆者訳)

(84) 大厦年初将要交工, 各方面都要抓紧。(《侯》 p. 323) ビルは年初に引き渡しますので、各方面では急いでやってください。(筆者訳)

(85) 火车就要开了, 还不见他的踪影, 大家真急死了。(《张》 p. 310) 列車がまもなく出るのはですが、まだ彼が見えないので、みんなはいらいらしています。(筆者訳)

(86) 我现在就要动身了。(《张》 p.310) 私はこれからすぐ出発します。

(筆者訳)

(87) 快要到北京了。(《张》 p. 327) まもなく北京に着きます。(筆者訳)

(88) 地里的西瓜快要熟了。(《张》 p. 327) 露地物のスイカがもうじき熟れます。(筆者訳)

『八』は“将要, 就要, 快要”を取り上げていないので、これらを単語として認めていないのであろう。《曲》はこれらをすべて副詞と認めている。“将要”について、「動作・行為または状況がほどなく発生することを表す。“快要”“就要”の意味がある」(p.254)と説明し、“就要”について、「短時間内にある事柄や状況が発生するか出現するかを表す。“快要”“将要”の意味があり、多く話し言葉に用いられる」(p.280)と説明し、“快要”について、「ある状況や事物が短時間内に発生するか出現するかを表す。“就要”“将要”に相当する」(p.295)と説明している。《侯》もこれらをすべて副詞と認めている。“将要”について、「事柄がしばらくすると、発生するか変化するかを表す。“即将”“快要”の意味がある。……よく書き言葉に用いられる」(p.322)と説明し、“就要”について、「行為や状況がしばらくすると、発生するか出現するかを表す。多く話し言葉に用いられる」(p.353)と説明し、“快要”について、「行為や状態が発生や出現に近いことを表す」(p.374)と説明している。《张》もこれらをすべて副詞と認めている。“将要”について、「しばらくすると進行するか発生するかを表す」(p.286)、“就要”について、「しばらくすると進行するか発生するかを表す。話し言葉に用いられる」(p.310)、“快要”について、「状況がまもなく出現することを表す」(p.327)と説明している。先行研究によれば、“将要, 就要, 快要”は『八』が「副詞+助動詞」、《曲》《侯》《张》が副詞としている。《曲》《侯》《张》に倣い、“将要, 就要, 快要”を副詞と認めるのであれば、“已经快(例 35), 已经差不多(例 36), 已经要(例 37)”“正要(例 53), 正想(例 54)”“已将(例 66)”“马上就(例 70), 眼看就(例 72), 就快(例 71, 77)”“快要(例 80), 就要(例 81), 眼看就要(例 82)”なども副詞と認めないわけにはいかないだろう。しかし、これらを副詞と認める

のにはまだまだ抵抗があるようである。

筆者はこれらの先行研究と例文とから、“将要, 就要, 快要”を一つの単語「副詞」ではなく二つの単語「副詞+能願動詞」とし、“将要”は「時間詞+出来事」構造の時間詞の位置に用いられることにより、“就要, 快要”は「時間詞+出来事+語気助詞“了”」構造の時間詞の位置に用いられることにより、「出来事がもうすぐ実現するであろう未来実現時間を表す」と解釈する。

2. おわりに

“曾经, 已经, 正在, 正, 在, 将, 就, 快, 要 / 将要, 就要, 快要”は一般に時間副詞とみなされているが、筆者は時間副詞を時点性の時間副詞と時段性の時間副詞とに分け、本稿では時点性時間副詞を取り上げている。時点性時間副詞は上記の分析から次のように整理できるであろう。

[表]時点性時間副詞

過去時間副詞: 曾经, 已经

現在時間副詞: 正在, 正, 在

未来時間副詞: 将, 就, 快

筆者は本稿でさらに“正在, 正, 在”のうち、“正”と“在”の両者を、出来事が行われている瞬間瞬間を表す現在時間副詞“正”と出来事が行われている継続を表す現在時間副詞“在”とに分けている。この点から、“正在”は出来事の行われている瞬間と継続を表す現在時間副詞と言えるであろう。また、一般に“要, 将要, 就要, 快要”は時間副詞とみなされているが、“要”はやはり能願動詞であり、“将要, 就要, 快要”はよく連用されて用いられるだけで、単語とは言えず「副詞+能願動詞」である。ただし、これらが「時間詞+出来事+語気助詞“了”」構造の時間詞の位置に用いられると、これらは出来事の実現を表す未来時間を表せるので、時間副詞なみに扱われると言えるであろう。この現象を筆者は兼類ではなく位置優先説と名付けている。

- 1) 《中学教学语法系统提要(试用)》によれば品詞は全部で 12 類に分けられ、具体的な意味を表す実詞と文法的な意味を表す虚詞の 2 類に大別できる。

[品詞分類表]

単語——12 類の品詞——実詞(名詞、動詞、形容詞、数詞、量詞、代詞)
虚詞(副詞、介詞、連詞、助詞、嘆詞、擬声詞)

- 2) 高橋(2000)はすでに名詞、動詞、形容詞、副詞の関係を明らかにしている。副詞は主として、次の例文のように動詞や形容詞の前に用いられ、動詞や動詞性の連語および形容詞や形容詞性の連語の特性を表す。しかし、文構造・名詞・代詞・量詞連語などの前に用い、それらの特性を表すこともある。

大概讲了半小时。だいたい 30 分ぐらい話した。(『八』 p. 63)

长短大概合适。おそらく長さは適当だ。(『八』 p. 63)

已经十点了，他大概不会来了。もう 10 時だ、たぶん彼はやってこないだろう。(『八』 p. 63)

已经十点了，大概他不会来了。もう 10 時だ、たぶん彼は来ないよ。

(『八』 p. 63)

光我们班，报名参加冬季长跑锻炼的就有几十个人。我々のクラスだけでも冬季マラソン訓練への参加申し込みは何十人もいる。(『八』 p. 137)

就这样，他离开了我们。このようにして彼は私たちのところから去った。

(『八』 p. 192)

小红大概十六七岁。紅ちゃんはだいたい 16, 7 歳ぐらいだ。(『八』

p. 63)

- 3) 『八』でも副詞を次のように 8 類に分けているが、筆者の分類とは多少異なる。

(1) 範囲副詞: 都・也・全・光・就

(2) 語気副詞: 才・可・却・偏

(3) 否定副詞: 不・没[有]

(4) 時間副詞: 刚・正・恰好・一・老・总

(5) 状態副詞: 正・反・横[着]・竖[着]・一块儿・一起

(6) 程度副詞: 很・极・挺・真・更・更加・非常・尤其

(7) 場所副詞: 处处・到处

(8) 疑問副詞: 难道

- 4) 相原など(1996)は 7 類(程度・範囲・頻度・時間・否定・様態・語気)に分けている。ここに挙げる時間副詞は相原などが挙げている時間副詞(p.142)である。

- 5) 李臨定(1993)が時間副詞として挙げている 10 の単語の中に“将要”が入っている(p.25)。

《基础》では時間副詞内部を次の 6 類に分類している(p.131~134)。

(1) 第一组表示动作发生的时间已经成为过去。“已经, 曾经, 早已”

- (2) 第二组表示刚刚发生, 时间不久。“刚才, 刚刚, 才”
- (3) 第三组表示正在进行。“正在, 正, 在, 还”
- (4) 第四组表示将要发生。“将要, 快要, 要, 就要”
- (5) 第五组表示时间先后。“首先, 先, 然后, 终于”
- (6) 第六组表示时间之短暂或长久。“忽然, 突然, 赶紧, 连忙, 逐渐, 逐步, 渐渐”

《综述》では時間副詞内部を次の12類に分類している(p. 58~62)。

- (1) 表最终“毕竟, 终, 终究, 终归, 终竟, 终于, 总归”
- (2) 表过去, 已然“曾, 曾经, 都, 业经, 业已, 已, 已经, 预先, 早, 早早”
- (3) 表突发, 短时“便, 刹时, 忽, 忽然, 即, 即刻, 就, 马上”
- (4) 表示不定时“迟早, 随时, 早晚”
- (5) 表初始“才, 初, 刚, 方, 刚刚”
- (6) 表暂且“姑, 姑且, 且, 权, 权且, 暂, 暂且”
- (7) 表持续“从, 从此, 从来, 还是, 一直, 仍然, 依旧, 永远, 至今, 总, 照例”
- (8) 表将来, 未然“将, 即将, 将次, 快, 行将, 要”
- (9) 表渐次“渐, 渐渐, 渐次, 日, 日益, 逐渐”
- (10) 表进行“正, 正在, 在”
- (11) 表惯常“常, 常常, 经常, 每每, 时常, 时时, 往往”
- (12) 表间或“渐或, 偶, 偶尔, 时而”

- 6) 郭春貴(2001)に時間副詞として、“要”とそれを用いた例文が二例挙げられている(p. 362)。

火车要开了。 汽車はもうすぐ発車するよ。

要下雨了。 もうすぐ雨が降りますよ。

- 7) 守屋宏則(1995)は時間副詞として、“在, 正”も挙げている(p. 87)。
- 8) 孫徳金(2002)は時間副詞として、“在, 正, 将要, 将, 要”も挙げている(p. 78)。
- 9) 相原など(1996)はアスペクトマーカ―としてこれらの副詞と文を挙げている(p. 199/p. 225~226)。
- 10) 朱繼征(2000)は「動相」諸形式の再整理として、動相の一次形式と二次形式とを挙げ一覧表(p.25)にまとめている。
- 11) 李明浩(2005)は運動の局面を表すアスペクト(動態助詞：“了, 着, 过”など)とそれ以外のアスペクト的な意味を表すアスペクチュアリテイ(時間副詞、補助動詞、語気助詞)の2類に分けている。
- 12) 陸儉明・馬真(1985)は“已经”に対して、次の説明と例文とを挙げ、アスペクトとみなしている(p. 106)。

譬如说, “已经”, 一般都把它看作是表示“过去时”的时间副词, 有人甚至明确认为“表示动作发生的时间已经成为过去”。例如:

(1) 他已经回来了。

可是, 在下面的句子里, “已经”显然不表示过去时:

(2) 明天八点他已经到上海了。

事实上“已经”并不表示时，而表示态，表示已然态。

李明浩(2005)は陸俊明・馬真(1985)の影響を受けて、副詞“才, 刚, 正, 正在, 在, 就”などを時間副詞ではなくアスペクチュアリテイとみなしている(p. 67~69)。

主要参考文献

1. 相原茂 石田知子 戸沼市子(1996)『Whyにこたえるはじめての中国語の文法書』 同学社
2. 荒川清秀(2003)『一步進んだ中国語文法』 大修館書店
3. 王志(1998)〈时间副词“正”的两个句法位置〉《中国语文》第2期
4. 郭志良(1991)〈时间副词“正”“正在”和“在”的分布情况〉《世界汉语教学》第3期
5. 郭志良(1991)〈时间副词“正”“正在”和“在”的分布情况(续)〉《世界汉语教学》第2期
6. 郭春贵(2001)『誤用から学ぶ中国語』 白帝社
7. 郭风岚(1998)〈论副词“在”与“正”的语义特征〉《语言教学与研究》第2期
8. 曲阜师范大学本书编写组编著(1992)《现代汉语常用虚词词典》 浙江教育出版社
9. 侯学超编(1998)《现代汉语虚词词典》 北京大学出版社
10. 泽田启二(1993)〈谈“在”——从其相关成分谈起〉《日本近现代汉语研究论文集》 北京语言学院出版社
11. 庄文中(1984)《中学教学语法新编》 江苏教育出版社
12. 人民教育出版社中学语文室(1984)《中学教学语法系统提要(试用)》 人民教育出版社
13. 朱繼征(2000)『中国語の動相』 白帝社
14. 朱德熙著 杉村博文・木村英樹訳(1995)『文法講義』 白帝社
15. 肖奚强(2004)〈“正(在)”“在”与“着”功能比较研究〉《第七届国际汉语教学讨论会论文选》 北京大学出版社
16. 杉村博文(1994)『中国語文法教室』 大修館書店
17. 齐沪扬 张谊生 陈昌来合编(2002)《现代汉语虚词研究综述》 安徽教育出版社
18. 孙德金(2002)《汉语语法教程》 北京语言文化大学出版社
19. 戴耀晶(1997)《现代汉语时体系统研究》 浙江教育出版社
20. 张寿康审定 倪宝元 田小淋主编(1986)《中学教学语法基础》 北京教育出版社
21. 张斌主编(2001)《现代汉语虚词词典》 商务印书馆
22. 陈月明(1999)〈时间副词“在”与“着”〉《汉语学习》第4期

-
23. 郑毅德(1988) 〈时间副词“在”的使用条件〉《语法研究和探索》4 北京大学出版社
 24. 北京大学中国語言文学現代漢語教研室編 松岡榮志・古川裕監訳 『現代中国語総説』三省堂
 25. 守屋宏則(1995) 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』 東方書店
 26. 杨平(2000) 〈副词“正”的语法意义〉《世界汉语教学》第2期
 27. 李明浩(2005) 「アスペクトとアスペクチュアリテイ」『外国語学研究』第6号 大東文化大学大学院外国語学研究科
 28. 李臨定著 宮田一郎訳(1993) 『中国語文法概論』 光生館
 29. 陆俭明 马真(1985) 《现代汉语虚词散论》 北京大学出版社
 30. 呂叔湘主編 牛島徳次《監訳》菱沼透訳 『中国語用例辞典』 東方書店
 31. 吕冀平(2000) 《汉语语法基础》 商务印书馆
 32. 梁鴻雁編著(2004) 《HSK 应试语法》北京大学出版者